



先導的実践プログラム部門 **へき地・小規模校教育に関するプロジェクト**

プロジェクト責任者：北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センター

へき地教育研究支援部門長 川前 あゆみ

概要

全国各地で小・中学校の小規模校化が進んでいる現状を鑑み、少人数の特性を生かした個に応じた指導方法とへき地・小規模校での実習を通じた教員養成モデルを構築することを目指した。

このモデルは、へき地に対応するのみならず、都市・市街地の小規模校にも応用できるモデルである。北海道教育大学では、学生のへき地・小規模校教育への理解を深め実践現場を体験させることで、地域に生きる教育としての意識を喚起し、もって、北海道の約半数を占めるへき地・小規模校で実践的な教育指導ができる教員の養成に取り組んできた。**教員養成段階における多様な実習による学びの質保証と高度化を進めるために、連携大学への“出前授業”を実施**し、4大学連携のほか、他大学からの参加による「へき地・小規模校教育フォーラム」を開催している。連携大学が開講する離島・遠隔地実習に参加した東京・大阪・愛知等の学生も多様な学びとして変容をもたらした。

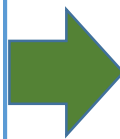
さらに、学生教育の成果やへき地・小規模校教育に関わる研究の成果を生かし、**現職教員への支援**につながる取り組みを進めた。**へき地・小規模校教育に関する開発教材を活用**して、HATO連携大学以外にも東北地方をはじめ、大都市の近郊にある地方でも研修会で活用実績をあげているほか、これからの学校適正規模や学校適正配置など、学校統廃合に関する行政視察も北関東・東海地方から受け入れている。国外からは、JICA中南米へき地教育振興コースの研修生受け入れの際に、本プロジェクトの教材を活用した研修内容にも発展してきている。

おおまかな特色について

- I 教員養成段階におけるへき地・複式・小規模校の「へき地校体験実習」プログラムモデルの構築と実習指導に活用する教材開発(複式学習指導手引書、DVD教材等)
- II 連携4大学への「へき地・小規模校教育」に関する“出前授業”実践と連携4大学における多様な実習の学びによる教育的効果の検証
- III 開発教材(複式学習指導手引書、DVD教材等)を活用した現職教員への支援と教育行政を中心とした各種研修会の広がり、国内外関係機関視察研修の受け入れ拡大

魅力ある、特色のある、今後、他教員養成系大学等へも展開できそうな取り組みについて (課題) (解決の方策)

- ①学校統廃合の加速により、複式学級、少人数学級等の指導方法の工夫が求められているが、教員養成段階で学ぶ機会が少ない。
- ②現職教員を支援する場が少ない。
- ③多様な学校環境における指導方法の工夫が求められている。



- ①学生の学びに活用できる指導教材を開発
- ②開発教材を用いた現職教員への支援を行政機関と連携して全国で実施
- ③複式学級、少人数学級等の指導を応用した子どもの主体的な学びの喚起につながる指導方法による教育的効果の検証

最終成果

- ①**現職教員や教育行政機関に対して開発教材を活用した研究・研修の提示を可能とし、小規模校化していく中で現職教員への支援に有益【平成29年度末まで(平成30年度以降も継続して実施)】**
- ②**全国的な小規模校化が進む中で、へき地・小規模校教育に関する実習の導入により、少人数指導や自律的学習指導といった多様な実習を経験することで学校を相対化してとらえる力を獲得した教員を全国に輩出【平成29年度末まで(平成30年度以降も継続して実施)】**
- ③**へき地・小規模校の教育指導方法が都市・大規模校にも活用可能【平成29年度末まで(平成30年度以降も継続して実施)】**

＞取り組み具体例

I 教員養成段階におけるへき地・複式・小規模校での実習プログラムモデルの構築と実習指導に活用する教材開発(複式学習指導手引書、DVD教材等)

○北海道教育大学では北海道179自治体のうち26市町村、55校で「へき地校体験実習」を実施した。学生123名が多様な地域構造にあるへき地・複式・小規模校で実際に学ぶことができた。本プロジェクトによるプログラムモデルの構築と実施体制の安定化を図り、プロジェクトを推進してきた各年次は同様の実績を保っている。

○へき地・小規模校教育を充実させるための手立てとした、複式学級における学習指導の教材開発

- ・実習の充実を図るための【「複式教育における学習指導の在り方」に関する手引書】を刊行
- ・複式授業の実際を撮影・編集した【映像資料〈算数科: 中学年〉】を制作
- ・複式授業の実際を撮影・編集した【映像資料〈社会科: 高学年〉】を制作

○実習指導や講義に開発教材を活用した新しい教育研究の整備

- ・北海道教育大学が先導的プログラム部門の本プロジェクト基幹大学として、先行して実習指導や講義に開発教材を活用し、新しい教育研究の整備を行っている。

II 連携4大学への「へき地・小規模校教育」に関する“出前授業”実践と連携4大学における多様な実習の学びによる教育的効果の検証

○大学連携としては、これらの教材を活用した“出前授業”を実施

○“出前授業”を通じて開発教材の教育的効果の検証

・その効果は、

- ①「小規模校の実態を知る」⇒教師と児童生徒の関係の密接性、小規模校での学級経営と学習指導の特徴への驚き、異学年学習交流による教育的効果、子ども理解の深さと個に応じた指導、活動的能動的学習活動の多さ、自主的学習活動時間の運営、等
- ②「小規模校化していく中での日本の教育課題に気付く」
- ③「学生自身の教職意識を喚起」

○求められる新しい教育研究の整備

- ・各大学の地域性や立地条件、地域構造における学生のへき地・小規模校教育への理解を深める手法と多様な実習のプログラムの整備
- ・北海道教育大学が特色ある教育活動と位置付ける「へき地校体験実習」を通じて、連携4大学が各大学における地域構造に応じた多様な実習を展開することで、実習による学びの成果の確認と他大学への普及の幅を拡大

III 開発教材(複式学習指手引書、DVD教材等)を活用した現職教員への支援と教育行政を中心とした各種研修会の広がり、国内外関係機関視察研修の受け入れ拡大

○現職教員・行政への支援

- ・全国各地における現職教員への研修の機会
- ・これまで、本プロジェクトで開催したフォーラムやHATOプロジェクトで開発した教材がHP上でも広報されたことを受け、可能な範囲で“出前研修”を全国に向けて成果普及
- ・学校統廃合に関する行政視察受け入れによる学校規模・学校適正配置等の研究・研修
- ・研究領域の場となる既存する学会等での話題提供や普及
- ・国内のみならず、台湾、韓国といったアジア地域からの視察や研究交流の機会
- ・JICA中南米へき地教育振興コースの研修生の受け入れ

事前指導(複式模擬授業の様子)

